

小鹿野町子育て世帯の女性を中心としたテレワーカー育成・就労支援・コミュニティ形成事業【小鹿野町】

個別事業費	4,865 千円
交付金額	3,648 千円

地域の実情と課題

本町は、豊かな自然に恵まれた人口約1万人の農業が盛んな町であるが、女性の就業率は31%と全国平均を大きく下回り、非正規従業員は男性の2.5倍に達している。就労先は製造業や介護などの現場対応業務が9割を占め、育児との両立やキャリア形成が困難な状況である。テレワーク施設の整備や就労支援事業も、雇用創出や所得向上には繋がっていない状況である。結果、希望の職を求める20代女性の転出率が44%に達するなど若年層の流出が深刻化しており、女性が将来の展望を描ける多様な就労環境の創出が急務である。

事業の特徴

本事業の特徴は、個々のスキルレベルやライフステージに寄り添い、育成から業務受注、キャリア形成までを一気通貫で支援する点である。初心者向け基礎講座から経験者のための実践的スキルアップ講座までを実施。さらに専門人材が業務の斡旋から完了までを伴走支援し、着実な所得向上に繋げている。既存拠点にはキッズスペースや託児機能を設け、子育て中の女性も安心して働ける環境を整備。勉強会や地域人材との連携を通じてテレワーカーのコミュニティを形成し、地域全体で女性の多様な働き方を支えている。

事業の効果

本事業は、育児や介護で働き方に制約のある女性にテレワークという柔軟な働き方を提供し、段階的な講座でデジタルスキルを習得させることで、より多くの就労機会を創出し、所得向上と生活の質改善を実現するものである。既存拠点を有効活用し、デジタル人材の育成と活用が促進されることで、地域内に新たなビジネス機会が創出され、地域経済全体の活性化と地方創生への貢献を目指す。さらに、女性が具体的なキャリアを描けるようになることで、職業生活の将来像が明確になり、若年女性の転出を抑制し、子育て世帯の移住促進にも寄与し、持続的な地域振興を実現する。

目的・目標

育児等で働き方に制約のある女性にテレワークという柔軟な働き方を提供し、デジタルスキルの習得を通じた就労機会の提供と所得向上の実現を目的とする。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	業務を受注したテレワーカーの数	15人 (アウトプット)	16人 (令和7年3月時点)	107%
事業KPI	講座受講者数 (延べ)	40人 (アウトカム)	38人	95%

連携団体

小鹿野町、一般社団法人おかえり集学校・集落支援員(セミナー運営支援、テレワーク拠点の運営、テレワーカーが受注した業務の現地での伴走支援)、株式会社LIFULL(セミナーの運営、テレワーカーへの業務の斡旋、発注先との連絡調整・納品までのクオリティチェック、オフィスコンサルティング)3社で月1回の定例会を開催し、連携しながら事業を実施した。

今後の課題

育成したテレワーカーが持続的に活動を継続するには、大きく分けて2つの課題がある。第一に、受注単価の向上と安定した受注機会の提供である。受注単価の向上のため、今後も継続したスキルアップ研修を開催し、安定した受注機会の創出のため地域内企業からアウトソーシング可能な仕事を創出することが不可欠である。単価と受注機会の安定は女性の所得向上に直結するため、継続的な研修と地域企業との連携強化が求められます。第二に、子育てと両立しながら働くモチベーションの維持も課題である。働くモチベーション維持のためには、支え合う仲間のコミュニティ形成が有効であると思われるため、今後もコワーキングスペースを拠点としたコミュニティ形成及びその活性化に注力する必要がある。

事業の概要

小鹿野町子育て世帯の女性を中心とした テレワーカー育成・就労支援・コミュニティ形成事業

育児等で働き方に制約のある女性にテレワークという柔軟な働き方を提供し、デジタルスキルの習得を通じた就労機会の提供と所得向上を目的としている。

テレワーカー育成講座

令和7年5月～9月 10:00～12:00 (計6回開催)
対象者：テレワークに興味・関心のある子育て世代の女性
場所：小鹿野町 長若集学校
参加者：25名

実施内容：周知セミナー及び連続講座を開催
周知セミナー：テレワークの働き方について周知するセミナー
連続講座：テレワーカーに求められるスキルなどテレワーカーに求められる基礎知識を学ぶ講座を連続5回開催



OJT研修 (スキルアップ講座)

令和7年10月～12月 1.5～2時間
場所：小鹿野町 長若集学校
参加者：13名
実施内容：育成講座卒業生を対象としたより実践的なスキルアップ講座を開催

STEP 1 育成講座受講

PC基礎講座、業務ツール活用講座、SNSマーケティング講座、WEBライティング講座などを連続講座で学び、テレワークを行う上で必要なスキルを獲得。

STEP 2 OJT講座受講

クラウドソーシングサイト等で実際の仕事受注方法を学び、仕事の受注から請求書作成までを体験するなど実践的な講座の開催や、目標設定、アクションプランの作成によりテレワーカーとして働くマインドセットを行う。

STEP 3 仕事の受注・コミュニティへの参加

テレワーカーとして働くに当たって、都度悩みなどが発生することが想定される。長若集学校のコワーキングスペースを拠点にコミュニティを形成し、常に相談ができるような体制を構築している。

結果・実績

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	業務を受注したテレワーカーの数	15人 (アウトプット)	16人 (令和7年3月時点)	107%
事業KPI	講座受講者数(延べ)	40人 (アウトカム)	38人	95%